

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

負極材料の原料 相次ぐ値上げ

新型コロナウイルスの影響や原料価格が上昇している中国では、負極材料の原料であるニードルコークス（以下、「NC」）と石油コークスの値上げが相次いでいる。

濰坊孚美新能源有限公司（本社：山東省イ坊市）の最新情報によると、原料の価格上昇から生コークスの出荷価格を5%値上げし10,000元/トンにするとしている。同社のNC生産能力は4月現在で年間12万トンで、さらに5,000~6,000トンの増産計画もある。

中国石油錦州石化公司（本社：遼寧省錦州市）は原料の石油スラリーの価格高騰によって煅焼後コークスの価格を10%値上げした13,000~14,000元/トンにする意思を示した。同社の生産ラインは2本で生コークスの生産能力は年間17万トンである。2022年末には3本目の20万トン/年の生産ライン建設を完了する予定である。

太原晟宏炭材料有限公司（本社：山西省太原市）は原料価格上昇のため煅焼後コークスの価格を10%引上げて10,500~13,000元/トンにしている。同社は計画通りに稼働しており、月間で生コークス6,000トン、煅焼後コークス6,000トンを生産している。

鞍山中特新材料科技有限公司（本社：遼寧省鞍山市）は4月1日からNCの出荷価格(税込)を20%高めて12,500~13,000元/トンにした。主な原因はコロナ感染症の影響と原料価格の上昇にあると関係者が表明した。

中国石油錦西石化公司（本社：遼寧省葫蘆島市）は4月3日から煅焼後コークス価格を600元/トン引上げて9,500元/トンに、石油コークス価格を400元/トン引上げて7,100元/トンにした。

中国の石油コークスの価格は2月から大幅に上昇しているため業界は注視している。低硫黄分コークスの価格は7,300元/トンに達し、2018年以来初めて7,000元/トンの大台を突破した。

黒鉛電極の市場価格は2月以降3,000~5,000元/トン上昇した。UHP600mm電極の取引価格は現時点では27,500~29,000元/トンで、引き続き上昇傾向となっている。

負極材料の価格は2月前に約20%上昇したあと、現在は比較的安定している。現時点ではローエンド製品の価格は38,000~45,000元/トンで、ミドルレンジは55,000元/トンとなっている。

中国のNC市場価格は第2四半期も上昇傾向にあり、上昇幅は2,000~4,000元/トンと予測されている。NCの輸出価格は2,000~2,300ドル/トンに達する見込みである。

情報源：石墨盟より整理、作成。